

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06201
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学	開催方法 (キャンパス・施設)	<input checked="" type="checkbox"/> 対面 (広島キャンパス) <input type="checkbox"/> オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	地域文化学への招待—多文化共生と文化の継承を考える—					
	学問分野	番 号	11	名 称	文化・文学	
3. 担当教員	(1) 草薙邦広 (地域創生学部地域創生学科地域文化コース 准教授) (2) 小川俊輔 (地域創生学部地域創生学科地域文化コース 教授) (3) 向居 暁 (地域創生学部地域創生学科地域文化コース 教授) (4) 鄭 銀志 (地域創生学部地域創生学科地域文化コース 教授)					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和 4 年 7 月 30 日 (土) ~ 令和 4 年 7 月 30 日 (土) 9 時 00 分 ~ 12 時 10 分 (45 分 × 4 回)					
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
5. 募集定員	50 人					
6. 科目内容・ 授業計画	<p>県立広島大学地域創生学部地域創生学科地域文化コースでは、「多文化共生」と「文化継承」という二つのテーマを基軸として、ますます多様性が高まる現代社会において、様々な文化的背景をもった人々がどのように共生していくか、また多様な地域の伝統文化をどのように継承し活かしていくかについて学ぶことができます。</p> <p>本講義では、4 名の講師がそれぞれの研究分野にひきつけながら「多文化共生」と「文化継承」についてお話しします。その上で、「地域文化学」とはどのような学問領域なのか、学生のみなさんと考えていきます。</p> <p>(1) 鄭 銀志「西洋人が見る日本と韓国の伝統服飾文化」 和服と韓服(ハンボク)は日本と韓国を代表する民族衣装で、その中には日本人と韓国人の情緒や嗜好が反映されています。本講義では西洋の人々が両国の伝統服飾文化についてどのような見解を持っていたのかを、文献資料から考察します。</p> <p>(2) 小川俊輔「日本語を科学的に見つめる」 私たちが普段、何気なく使用している日本語は、長い歴史を経て、現在の姿となり、また、今も変化を続けています。「あかさたな」はなぜこの順に並んでいるのか、「です」と「ます」は何がどう違うのかなど、身近な例を取り上げながら、言語文化の伝承、教育などについて考えてみましょう。</p> <p>(3) 草薙邦広「言語の違いと言語教育」 多文化共生と文化継承はともに言語とコミュニケーションという観点からも捉えることができます。本講義では、マルチリンガリズムという視座から、話者間の言語の違いがもたらすさまざまな事象、そして将来の言語教育のあるべき姿についてみなさんと一緒に考えます。</p> <p>(4) 向居 暁「記憶の仕組みと教育活動」 ほとんど意識しないのですが、私たちの生活は記憶によって支えられています。認知心理学の研究から、記憶の仕組みやより効果的な覚え方、そして、覚えることや勉強することと教育活動の関連などについて一緒に考えましょう。</p>					
7. 受講料	不要					
8. 別途負担費用	不要					
9. 開講条件※1 あり・ない	① 最少開講人数 ( ) 人 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 (7 月 8 日(金) 以前の開講科目は 3 月末まで / 7 月 9 日(土) 以降の開講科目は 6 月末まで)					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など 特になし					
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。  
 コロナ禍の影響により、対面講座の不開講・休講またはオンライン (同時・録画) へ変更になる場合があります。